

1 目的

今後の財政見通しや行財政運営上の課題について、市民と共有し、その理解を得ながら、人口減少・少子高齢化が進む中で、将来にわたって持続可能な市政運営の実現

2 推計結果

○歳出では、引き続き社会保障関係経費※¹が増加し、公共施設の長寿命化対策※²や国民スポーツ大会に向けた施設整備等に伴う普通建設事業費についても大幅に増加

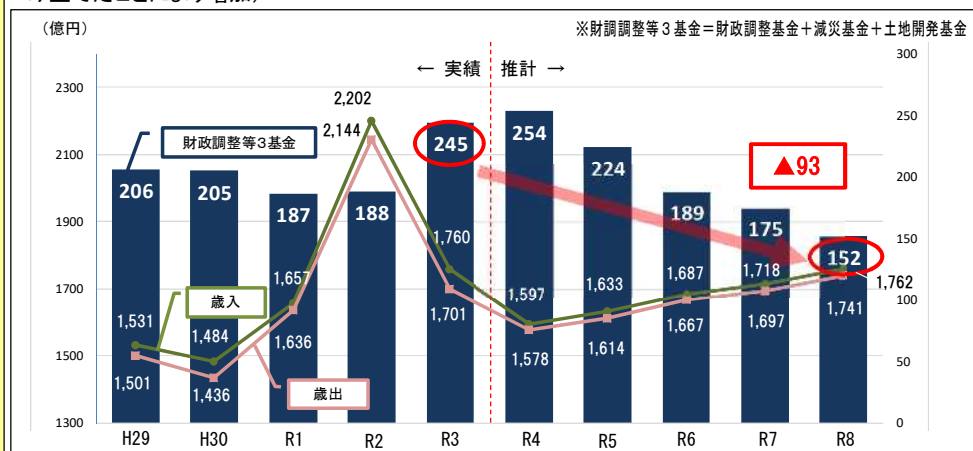
○歳入では、市税が回復傾向。また、歳出に連動して補助金や市債発行が増加するものの、大幅な財源不足が生じる見込みのため、基金の取崩しで対応

※¹ 社会保障関係経費は、障害者（児）給付費などの扶助費などが、近年、増加傾向であり、令和8年度は、令和3年度（新型コロナウイルス感染症関連事業分を除く）と比較して37億円増

※² 公共施設の長寿命化対策については、年度間の不均衡を是正するため、一定規模の「施設長寿命化枠」により財政負担の平準化を図るものの、令和8年度までの5年間で事業費は約606億円と膨大

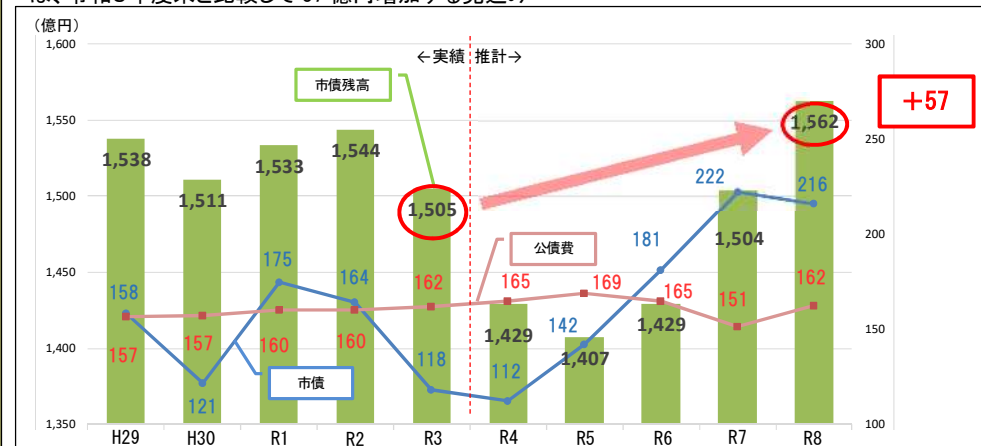
歳入・歳出と財政調整等3基金残高の推移

財政調整等3基金について、各年度の財源不足を補うため、その取り崩し額が増加し、令和8年度末は、令和3年度末と比較して約4割減少する見込み（令和4年度は前年度の実質収支の一部を積み立てたことにより増加）



市債残高の推移

市債残高について、令和4年度から令和5年度にかけて臨時財政対策債の発行の減等により一時的に減少するものの、公共施設の長寿命化対策等に係る新規市債発行の増加により、令和8年度末は、令和3年度末と比較して57億円増加する見込み



3 今後の課題

市内経済の活性化

○人口減少・少子高齢化が進む中で持続可能な財政運営を行うためには、地域経済を新型コロナウイルス感染症拡大以前に増して活性化させることが必要
ワクチン接種の加速と善光寺御開帳後、活気を取り戻しつつある市内経済を再び落ち込ませることなく取り組むとともに、「長期戦略2040」の推進によって、「新産業の創出」など経済基盤の底上げを行い、所得向上と税収確保につなげる

健康寿命の延伸

○本格化する人口減少・少子高齢化を見据え、高齢者の社会参加の促進、フレイル予防など介護予防の充実による健康寿命の延伸を図る施策により、社会保障関係経費の増加を抑制

市政運営の効率化

○公共施設の在り方の見直し

公共施設の長寿命化対策については、当初予算に「施設長寿命化枠」を設けたことで財政負担の平準化を一定程度図れるが、オリンピック施設をはじめ数多くの施設を抱える本市は、これまで以上に財政状況が悪化することは避けられない

原則、新たな施設整備には着手せず、既存の施設については個々に長寿命化の必要性や整備内容を再検討し、併せて統廃合、民間譲渡の前倒しなどを加速

○行政のスリム化・効率化等

事業の「選択と集中」を一層強化させ、公共施設の在り方の見直しと並行して、行政DXの推進や組織の合理化、広域化など行政全体のスリム化・効率化を加速させるほか、都市機能の効率化を進める「スマートシティ」を実現